

学校目標「心豊かで 自他ともに大切にし 共に学び合う たくましい子どもの育成」

～ ただしく かしこく たくましく ～



梨の花

唐津市立大良小学校 学校だより

R4. 3月22日号

文責 校長 渡辺 謙



学校 HP

卒業おめでとう 5人の6年生が立派に巣立ちました！

3月18日(金)5人の6年生が大良小学校を巣立っていきました。大良小学校の大黒柱として活躍してくれた5人の卒業生のこれからの活躍を心より願っています。なお、今年度も孚会の皆さんに御協力いただき作成した、和紙の卒業証書を手渡すことができました。ありがとうございました。

以下卒業式式辞としてお話させていただいたことを御紹介させていただきます。



式辞

山都美の里にも暖かい風がふく心地よい季節となりました。

このような良き日に、大良小学校育友会会長 ○○様をはじめ、役員の方々のご臨席を賜り、令和3年度、唐津市立大良小学校第75回卒業証書授与式を挙げていただきますことを職員一同、心から厚くお礼申し上げます。

本日、小学校の卒業を迎えるみなさん卒業おめでとうございます。

両手に小さい下級生の手をつないで、毎日登下校していた○さん。

進んで行動。運動会でも子ども会議でも、まとめる仕事をしてくれた○さん。

大きな声で「にしんがきたぞー」と、ソーラン節の先頭に立った元気いっぱいの○さん。

さまざまな行事や会において、突然のあいさつ担当になっても、しっかり言葉が言える○さん。

優しい態度と明るい雰囲気、周りをほかほかした気持ちにしてくれる○さん。

あなたたちは、大良小の大黒柱であり、下級生のあこがれでもありました。

いま、自分たちで作った手すき和紙の卒業証書を手に取り、「卒業」が実感できたのではないかと思います。その卒業証書には、大良小学校で過ごしてきた六年間の思い出とともに、大良小を見守ってくださるみなさんの思いが込められています。これから先、長い人生を歩いていく中で、自分の故郷である大良が、みなさんの心の糧となることを願っています。

ところで、この方を知っていますか。名前を「中村哲」さんと言います。お医者さんです。中村さんは、日本で病気を治療されている方ではありません。中村さんの活躍の場は「アフガニスタン」という国です。

中村さんは、1984年にアフガニスタンの隣の国パキスタンで、ハンセン病の患者さんたちのための医療活動を始められます。その後、様々な理由から、活動の拠点を隣のアフガニスタンに移されます。

しかし、長く医療活動を行っていく中で、アフガニスタンの人々を救うには、病気を治すことより大切なことがあると気づかれます。それは、きれいな水を確保することです。アフガニスタンでは、きれいな水がなく、汚れた水を飲むために体を壊す人々がたくさんいたのです。そして、中村さんは、お医者さんでありながらも、「病気は後で治す。まずは水だ。」という言葉とともに、自分でスコップを担いで井戸を掘られます。

中村さんが、仲間とともに掘った井戸の本数は、千本を超えるそうです。そして井戸を掘るだけでなく、アフガ

ニスタンの砂漠を緑に変え、人々が農業をして暮らしていけるようにと、「死の谷」と呼ばれるような場所にも、全長25キロの用水路を作ることもなされています。残念ながら、中村さんは、2019年に武装組織の襲撃を受け亡くなります。

しかし、アフガニスタンのために生涯を捧げられた中村さんは、この国の人々の心に深く刻まれ「カカ・ナカムラ（なかむらおじさん）」として、今も慕われているそうです。

この中村さんが残された「一隅を照らす」という言葉があります。この意味について、中村さんは、インタビューでこう答えられています。

「一隅を照らすということは、世界中を豊かにするだとか、全人類を救うだとか、そういうことではなくて、一隅、自分の身の周りから照らして行ってください、これが何より国の宝ですよとこういうことなんですよ。自分がいまいる場所や立場で、自分にできる精いっぱいのことをするということです」。

わたしたちが一生のうちにはできることは限られています。しかし、この言葉にあるように、みなさんがそれぞれの立場で、自分にできることを精いっぱいやりながら、自分らしく生きていくことを心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様に一言、お祝い申し上げます。

小学校6年間を無事に終えられ、今日の日を迎えられたこと、本当におめでとうございます。

今日という日を迎えられるまでには、楽しいことばかりではなく、子育ての心配事や、悩みがございましたことだと思います。しかし、どんなときにも子どもの成長を願い、学校を信頼して、歩調を合わせて、本校教育にご理解、ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後も私たち職員一同、子どもたちを見守り続けることをお約束するとともに、少しでも力になり続けたいと思っております。

卒業生の皆さん、みなさんと過ごした日々は先生にとっても大きな宝物となりました。本当にありがとうございました。

みなさんが、この山都美の里から大きく羽ばたいてくれることを信じ、式辞といたします。

令和4年 3月18日

唐津市立大良小学校校長 渡辺 謙